

学校教育目標	「生き生きと活動できる心優しい子」 【知】自ら課題を見つけ、自分の問題として取り組めるように支援し、生きる力を身に付ける子どもを育てます。 【公】クラス、学年の枠をこえた子ども同士の関わり合いや地域とのふれあいを大切に、教育活動に生かす子どもを育てます。 【徳】温かい言葉や挨拶を友だちや保護者・地域の方とかわすことで、思いやりの心がもてる子どもを育てます。 【体】望ましい生活習慣を身に付け、自分や人の生命と体を大切に、のびのびと生活できる子どもを育てます。 【開】コミュニケーションを通して、異なる文化や考え方を尊重し、相互に理解し合おうとすることができる子どもを育てます。				
	創立 60 周年 児童生徒数: 663 人	学校長 宮本 仁志	副校長 菊地 園子	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 5
学校概要	主な関係校: 日吉台西中学校 駒林小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	日吉台西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え行動する力 友達や地域の人とふれあうことのできる力 だれにでも思いやりをもてる心 のびのびと活動できる力 コミュニケーションがとれる力	日吉台西中学校 駒林小学校 下田小学校	○自他の思いや子ども同士の関わり合いを大切に、よりよい社会を主体的に築こうとする子ども。 ○基礎的・基本的知識技能の確実な習得を図り、主体的に学習に取り組む子ども。 ・「基礎的・基本的な知識・技能の習得を旨とした授業づくり」を日吉台西中ブロックテーマとして設定し、小中相互の授業参観や研究会を行いながら、教職員の共通理解のもと、一人一人の子どもに心の居場所と役割がある学級づくりに取組む。また、小中交流を通して、子どもたちが安心して期待感をもって中学校に進学できるようにする。

中期取組目標	○学校教育目標を実現するために、「あいさつ」「なかよし」「おもいやり」の3本の柱を設定し、子どもたちが楽しいと感じることのできる魅力あふれた学校を目指します。
	・基礎基本の充実を図り、教科担任制を実施しながら、各教科の学習活動の充実に努め、安定したクラスづくりに努めます。 ・共に生きる子の育成をめざし、あいさつを含む公共心や規範意識を一層高め、相手を思いやる心の教育の充実を図ります。 ・縦割り活動を取り入れ、子ども同士のかかわり合いや地域の方たちとの触れ合いを大切に教育活動を実践します。

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 教務部	①授業や家庭学習の中で、計算や漢字練習等を行い、基礎・基本の確実な習得を図る。 ②学習状況調査の結果を各学年、各クラスで分析し、きめ細かい指導をして習得率アップを図る。 ③全学年教科担任制を導入し、複数の教師で子どもたちを指導する体制をとり、安定したクラスを目指す。
徳 豊かな心 担当 道徳部・人権教育部	①「心安らぎ安心できる学校」をめざし、人権教育・道徳教育を基盤とした教育活動を展開する。温かい言葉遣いや挨拶など礼儀や規範意識を育てる。 ②子ども同士のかかわり合いや地域の方たちとのふれあいを大切に他者への思いやりの心を育てる。
体 健やかな体 担当 体育部	①基本的生活習慣の大切さを学び、「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣化に向けた取組を図り充実させる。 ②一校一実践運動の「持久走」を通して体力の向上を図る。 ③食育を推進し、健康な体づくりへの関心を高める。
公開 縦割り活動と福祉教育 担当 特活部・福祉教育部	①縦割りのペア学年による「なかよし活動」を通して、他者を思いやる心とコミュニケーション力を育てる。 ②地域の教育ボランティアとのかかわりや地域の福祉施設とのふれあいを通して、地域に開かれた学校を目指す。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①「いじめを絶対に許さない」という意識を徹底させる。毎月「いじめ防止アンケート」の実施 ②「下田スタンダード」を示し、全校児童が安心して規律ある生活を送れるよう指導する。 ③挨拶運動に取り組み、活気にあふれる学校を目指す。 ④YPアセスメントシートを実施し、児童に寄り添った指導を行うようにする。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 企画会	①5年次研修までの教員を育成するためにメンターチームを組み、授業の検討や児童指導について学び合う。②限られた時間で会議を開催できるように効率よく運営する。 ③ワークライフバランスを考えて、教科担任制の推進や業務のアウトソーシング、職員室アシスタントの活用、留守番電話の導入など働き方改革を実践する。
特別支援教育 担当 校内支援委員会	①個別支援学級と一般級の子どもとの交流及び共同学習を行う。 ②個別の教育支援計画を保護者と相談しながら充実させ、個別の教育指導のもとに支援指導にあたる。 ③子ども、保護者の思いを汲み取り、子どもの自立をめざし、全ての教職員がかかわりながら子どもの成長を支援する。
地域住民との連携 担当	①地域行事等への積極的な参加を子どもたちに促す。 ②教育ボランティアの活動を、学校教育の中に明確な位置づけをする。 ③学校だより、ホームページ等を通じて、学校の情報を提供する。 ④福祉教育を核に学年の発達段階に応じ、地域の福祉施設や団体との交流活動を推進する。